

【E-2】 ChatGPT の社会インパクト

(敬称略)

10月24日(火) 12:35-14:50

セッションチェアマン： 加藤 千晴(株)村田製作所・中村 孝(大阪大学)

◆ 生成 AI の経営や現場へのインパクト、成果を出すために必要な条件とは



株式会社エクサウィザーズ
常務取締役
大植 拓真

[講演要旨]

エクサウィザーズが実施した 2023 年 4 月末のアンケート調査によると、製造業では 3 割が ChatGPT 等の生成 AI を活用しておらず、業務で日常的に使用しているのはわずか 3%でした。全産業の結果でも約 25%が未使用であり、日常的に使用しているのは 7%に留まっています。この講演では、このような現状を踏まえ、生成 AI を導入し、成果を出すために必要なポイントを紹介します。生成 AI の基本的な知識から最新動向、そして生産性を向上させたり新規事業を実現したりするためのプロンプトの活用法、最先端テクノロジーを駆使した情報連携の重要性などを取り上げます。また、生成 AI 時代に適応できる組織体制や人材育成についても考察します。

[講演者プロフィール]

京都大学工学部卒業。京都大学工学研究科修了(都市計画、AI・データサイエンス)。2013 年、ポストコンサルティンググループに入社。事業成長戦略、事業変革、DX 推進、新規事業立ち上げなどの多数のプロジェクトに従事した後に 2018 年、エクサウィザーズ入社。2019 年 4 月より、AI 事業管掌執行役員として年間数百件の AI 導入・DX 実現を担当。企業の経営層や管理職向け DX 研修の講師実績が多数ある。2020 年 6 月に取締役就任。2023 年 6 月に常務取締役就任。兵庫県立大学客員准教授。兵庫県 ChatGPT 等生成 AI 活用検討プロジェクトチーム アドバイザー。著書に「Web3 時代の AI 戦略」(日経 BP、2022 年)、「次世代 AI 戦略 2025 激変する 20 分野 変革シナリオ 128」(日経 BP、2021 年)。

◆ ChatGPT などの大規模言語モデルの仕組みと言語生成技術における研究課題



国立研究開発法人産業技術総合研究所
人工知能研究センター
研究チーム長
高村 大也

[講演要旨]

ChatGPT を含む大規模言語モデルが急激に発展し、その高い性能に一般ユーザーのみならず専門家も驚いており、社会に大きな影響を与えている。本講演では、大規模言語モデルの適切な利活用を促進するため、その仕組みを概説し、重要な周辺技術を紹介する。また、言語生成研究分野で扱われている研究課題を紹介し、

大規模言語モデルのさらなる発展性について議論する。

[講演者プロフィール]

1997 年東京大学工学部計数工学科卒業。2000 年同大大学院工学系研究科計数工学専攻修了。2003 年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士課程修了。博士(工学)。2003 年から2010 年まで東京工業大学助教。2010 年から 2016 年まで同准教授, 2021 年 3 月まで同教授。2017 年から産業技術総合研究所人工知能センター知識情報研究チーム研究チーム長。計算言語学, 自然言語処理を専門とする。

◆ ChatGPT の仕組みと活用の未来像



日本マイクロソフト株式会社
カスタマーサクセス事業本部
Cloud Solution Architect
蒲生 弘郷

[講演要旨]

2022 年末に登場した ChatGPT は大きな注目を浴びています。生成 AI によってもたらされる影響を理解し、人類がより良い方向へ進化していくために、今後どんな応用が見込まれるのでしょうか。単なるチャットボットでは終わらない GPT の様々な活用方法を Microsoft のサービスの GPT を組み込んだ最新機能や活用事例を交えてご紹介します。

[講演者プロフィール]

大手システムインテグレーターにてキャリアをスタート。自動車業界のデータ活用基盤のコンサルティングや、エンタープライズブロックチェーンを活用した異業種間データ流通プラットフォームの立ち上げなどを担当。数年間、データサイエンティストとして社会インフラ関連企業を対象にしたデータ分析および機械学習システムの開発を経て、現在 Microsoft にて ChatGPT など Azure AI 導入の技術支援や、SNS や外部セミナーでの GPT 開発の Evangelist 活動に従事。

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

【E-1】 大学セッション(無料)マテリアル先端リサーチインフラ

【E-3】 中・韓・印 アジア半導体産業の最前線を追う！